



前号（7/17 付）に記載済みの 8 月上旬・中旬に下旬の内容を付け加えました。一定の間隔で散布を進めてください。

りんご 8 月上旬の薬剤散布（定期）：前回より 15 日後

散布時期：8 月 5～10 日 *ハダニ類の発生が目立つ場合は前倒し散布へ

散布薬剤：水 100ℓ
展着剤 10ml
コロマイト乳剤 100ml（前日、1 回）
エクシレル SE 20ml（前日、3 回）
ダイパワー水和剤 100g（前日、3 回）

散布日：8 月 日

散布量：ℓ

お盆前（定期）

散布量：10a 当たり 600ℓ

対象病虫害：輪紋病、炭そ病、褐斑病、斑点落葉病、ハダニ類、シンクイムシ類、ハマキムシ類、キンモンホソガ

注意事項

前号（7/17 付）記載同内容

- 【重要】褐斑病対策：ベンレート水和剤 2,000 倍（前日、4 回）を加用する。
- 機能性展着剤のササラの 2000 倍を使用すると薬液が葉裏（毛じ間）によく広がり、薬液の乾きも早くなる効果がある。
- シンクイムシ類・カメムシ類対策：エクシレル SE に代えて、バリアード顆粒水和剤 2,000 倍（前日、3 回）を使用してもよい。尚、バリアード顆粒水和剤は劇物登録のため、購入の際は印鑑をお持ちください。
- ダイパワー水和剤・ベフラン液剤に含まれる有効成分（イミノクタジン）の使用は開花期以降年間 3 回迄です。
- つがる軟化防止対策：液状カルシウム資材「セルキープ」の 1,000 倍を加用する。（価格：1,835 円/ℓ規格⇒約 1,000ℓ分）

りんご 8 月中旬の薬剤散布（特別散布）：前回より 7 日後

散布時期：8 月 12～15 日 *真夏のシンクイムシ類の食入防止対策

散布薬剤：水 100ℓ
展着剤 10ml
劇バリアード顆粒水和剤 50g（前日、3 回）

散布日：8 月 日

散布量：ℓ

お盆中（特散）

前号（7/17 付）記載同内容

散布量：10a 当たり 600ℓ

対象病虫害：シンクイムシ類、カメムシ類、キンモンホソガ、ギンモンハモグリガ

注意事項

- 【重要】バリアード顆粒水和剤は劇物登録薬剤です。購入の際は印鑑をお持ちください。
- 機能性展着剤のササラの 2000 倍を使用すると薬液が葉裏（毛じ間）によく広がり、薬液の乾きも早くなる効果がある。
- ハダニ類対策：オマイト水和剤 750 倍（3 日前、1 回）を繰り返して混用してもよい。尚、ナシ類には登録がないので飛散しないように注意する。

りんご 8 月下旬の薬剤散布（定期）：前回より 10～15 日後

散布時期：8 月 20 日～25 日 *ハダニ類が発生している場合は前倒し散布へ

散布薬剤：水 100ℓ
展着剤 10ml
フリントフロアブル 25 50ml（前日、4 回）
劇イカズチWDG 66g（前日、2 回）
オーソサイド水和剤 100g（前日、6 回） *黒星病対策
オマイト水和剤 133g（3 日前、1 回） *注意：ナシ類登録なし

散布日：8 月 日

散布量：ℓ

お盆後（定期）

対象病虫害：輪紋病・炭疽病・褐斑病・斑点落葉病・すす点・すす斑病・黒星病

ハダニ類・シンクイムシ類・ハマキムシ類・キンモンホソガ・ギンモンハモグリガ

散布量：10ℓ当たり 600ℓ

【注意事項】

- イカズチ WDG は劇物登録薬剤です。購入の際は印鑑をお持ちください。
- オマイト水和剤はナシ類に登録がないので、飛散しないように注意する。
- 機能性展着剤ササラ 2000 倍を使用すると薬液が葉裏によく広がり、薬液の乾きが向上する。
- 中生種軟化防止対策：液状カルシウム資材「セルキープ」1,000 倍を加用する。

【重要】次項は殺ダニ剤の選択について

【ハダニ類多発注意！】

りんご殺ダニ剤の選択について

○：効果ある △：効果やや劣る ×：効果ない

薬剤名	倍率	基準	回数	IRAC コード	種類に対する効果		ステージに対する効果		
					赤ダニ	白ダニ	卵	幼若虫	成虫
ピラニカ水和剤	2000	21 日前	1 回	21	○	×	○	○	○
カネマイトフロアブル	1000	7 日前	1 回	20	○	○	○	○	○
マイトコーネフロアブル	1000	前日	1 回	20	○	○	△	○	○
オマイト水和剤	750	3 日前	1 回	12	○	○	○	○	○
コロマイト乳剤	1000	前日	1 回	6	○	○	○	○	○
コロマイト水和剤	2000	前日	1 回	6	○	○	○	○	○
ダニゲッターフロアブル	2000	前日	1 回	23	○	○	○	○	△
スターマイトフロアブル	2000	前日	1 回	25	○	○	○	○	○
ダニサラバフロアブル	1000	前日	2 回	25	○	○	○	○	○
ダニコングフロアブル	2000	前日	1 回	25	○	○	○	○	○
アカリタッチ乳剤	1000	前日	—		○	○	×	○	○

殺ダニ剤ローテーション 2019

- ➡ 7 月下旬（7/20・25 頃）：ダニコングフロアブル（中期的抑制効果あり・残効 14 日程度）
- ➡ 8 月上旬（8/5・10 頃）：コロマイト乳剤 1,000 倍（速効的・成虫に効果高い・残効短い）
- ➡ 8 月下旬（8/20・25 頃）：オマイト水和剤 750 倍（成虫に効果あり・残効やや短い）
- ➡ 9 月上旬（9/5・10 頃）：アカリタッチ乳剤 1,000 倍（成虫に効果あり・残効短い）

【注意事項】

- ① ダニサラバ・スターマイト・ダニコングは同一薬剤系統である。抵抗性回避のため、いずれかを年 1 回のみ使用とする。
- ② ダニゲッター・ダニサラバは成虫に対してやや遅効的效果を示す。
- ③ カネメイトとマイトコーネは同一薬剤系統である。抵抗性回避のため、いずれかを年 1 回のみ使用とする。
- ④ アカリタッチ乳剤は卵には効果がなく、また残効性が期待できないので、害虫の増殖や圃場からの飛び込みが活発な時には、5～10 日の間隔で連続 2 回散布や、他剤とのローテーション散布を行う。
- ⑤ 散布ムラはハダニ類の多発を招く。樹冠内部まで十分に薬液が到達するように不要な枝等は除去する。
- ⑥ 多発が予想される又は多発の場合は、登録の範囲内で散布量を増やし、散布間隔を短縮する。